

モデル事業を
実施中!



市内6町内で プラごみを分別収集しています

市内6町内では、ごみの減量や資源の循環利用、温室効果ガスの削減のため、これまで燃えるごみだったプラスチック類を資源ごみとして収集するモデル事業に9月から取り組んでいます。

対象町内 (全6校区から1町内ずつ選出)

- 鬼木町 ●瓦屋町
- 西間下町 ●東漆田町
- 上戸越町 ●中林町

6町内以外の町内は対象ではありません

プラごみの収集量

プラスチック類は毎週水曜の「資源ごみの日」に収集していますが、モデル町内の皆さんの協力で収集量が増えてきています。

収集日	9/4	9/11	9/18	9/25	合計
収集量 (kg)	400	500	610	570	2,080

よくある間違い

プラスチック類として収集できない紙の混入

最近では紙製のカップが増えています。表示をよく確認してください。



ふた部分は紙素材の場合もあります。



→ 「燃えるごみ」へ

資源ごみ袋として使えない袋でのごみ出し

乳白色のレジ袋は、中身が見えないため使えません。



45%以下の透明か半透明で中身が確認できる袋で出してください。

ふたやラベルが付いたままのペットボトル

今回のモデル事業に限らず、ふたやラベルが付いたままのペットボトルが多く見られます。ふたやラベルは必ずボトル部分と分けてください。



ふたやラベル

ボトル部分

↓
モデル6町内
「資源ごみ」へ
↓
モデル町内以外
「燃えるごみ」へ

↓
「資源ごみ」へ

そのほかの注意点

- ・発火性のある電池式や充電式の物は、集積所に出せません。
- ・事業所から出るごみは、集積所に出せません。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

▶市ホームページ



問合せ 市環境課廃棄物対策係 (☎22-2111 内線2073)

避難路整備工事が始まりました

市では、復興まちづくり計画に掲げる「安全で災害に負けないまちづくり」の一環として、市内各地から近くの指定避難所などへ避難しやすくするため、道路の幅を広げる避難路整備事業を進めています。同事業は市内22カ所で予定していますが、初めての工事となる市道「温泉町地内第1号線」の着工に向け、10月7日に温泉町で安全祈願祭を行いました。

神事で工事の安全を祈った後、松岡市長は「今回の工事は避難路整備の第1号で、安全安心なまちづくりに向け、避難を確実にするための重要な一歩となる」とあいさつしました。

残り21カ所についても順次着工し、令和16年度までに全ての路線の工事完了を目指します。

▶祈願祭には施工者の有限会社ウエダ建設や地元町内会などが出席



◀工事の無事や安全を祈って砂山の草を刈り取る松岡市長



温泉町地内第1号線

温泉町の工事区間は113㍍。現在の幅2.2㍍の道路を5㍍に広げることで、同町から指定避難所のスポーツパレスや第二中へ移動しやすくなります。工事は今年度中の完成を予定しています。

復旧復興状況

整備予定の道路 (一部抜粋) (令和6年10月現在)



温泉町地内第1号線 (温泉町みんなの家付近)



宝来村山線



相良薩摩瀬第2号線 (西松屋人吉店付近)



矢黒下戸越線 (国道219号~矢黒町付近)

問合せ 市道路河川課建設係 (☎22-2111 内線2244)